

ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成29年12月15日号

第39号

発行 社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒314-0121 神栖市溝口1746番地1

TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750

ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>

※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます

メールアドレス mail@kamisushakyo.com



ほっとサロン



ふれあいサロン
めだか



平泉わくわく
サロン



わくわくサロン
知手浜

＜特集＞20年間、笑顔をつないできました！

市内4つのわくわくサロンが20周年を迎えました

わくわくサロンとは、地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが家の外に出て、公民館など身近な場所に集い、食事やおしゃべり、レクリエーションなど楽しい時間を過ごす活動の場です。サロン活動は、一人暮らし高齢者の孤独感を解消したり、認知症を予防したりするなどの効果が期待できる取り組みです。

今回おじゃましたのは、開設20周年、または近々迎える神栖市内の4か所のサロンです。どのサロンにも独自の工夫があり、それぞれオリジナリティ溢れる活動をしています。取材中、そこに集う皆さんからはサロンへの誇りや愛着が感じられました。

特集では、皆さんに活動開始からの20年を振り返っていただき、印象に残る出来事や20周年を迎えての感想をお話しいただきました。

裏面へ続きます

神栖市社協では、わくわくサロンの立ち上げ支援を行っています。

お問い合わせは、地域福祉推進センター 神栖本所 電話:0299-93-0294(担当:萬代)

波崎支所 電話:0479-48-0294(担当:横田)まで

〔特集〕市内の4つのわくわくサロンが20周年を迎えました

ほっとサロン in大野原児童館 毎月第1火曜日開催



○見たい！食べたい！で20年 平成9年4月1日開始
外出活動が多いほっとサロン。“あの辺りは綺麗な花が咲いて、見頃みたいよ”“あそこのお店の料理は格別”と参加者やボランティアが伝え聞いた情報をもとに、「じゃあ行ってみよう！」とすぐに外出の計画が立てられます。この20年で、様々な場所に行き、四季折々の料理や風景を楽しんできました。「いろいろな意見を言い合える環境が、20年続いた秘訣かもしれませんね。これからもこのサロンに来て良かったと思ってもらえるようにしていきたいです」と代表の菊地さんは話してくれました。

ふれあいサロンめだか in新港公民館 毎月第3日曜日開催

○「いらっしゃい」の心で20年 平成9年12月7日開始
20年の間に開催場所は、幾度となく変わってきましたが、変わらないことが1つ。それは「来る人を拒まずの心」。そのため、友達が友達を呼び、めだかには様々な出身地の参加者が集まります。この日は沖縄県出身の方が手踊り“カチャーシー”を披露し、沖縄の風情を感じるサロンとなりました。“次回はこれがやりたい”という案を参加者が積極的に言ってくれるようになったのは、20年の間に培われてきたみなさんの安心と信頼で成り立ってきた証拠だとお話がありました。



平泉わくわくサロン in平泉コミュニティセンター 毎月第2火曜日開催



○チームワークの良さで20年 平成9年12月22日開始
サロンは、常に和気あいあいとした雰囲気と賑やかなおしゃべりで溢れています。季節ごとに企画される外出行事は参加者のみなさんが特に楽しみにされていると伺いました。チームワークの良さがあつたからこそ、20年を迎えられたというボランティアのみなさん。これからも協力しながら、肩肘張らず続けて行きたい、何よりも参加される方が“今日も楽しかった”と思ってもらえればとお話がありました。12月12日に開催されたサロンで、20周年を盛大にお祝いされました。

わくわくサロン知手浜 in知手浜公民館 毎月第1と第3木曜日開催

○友情を育んで20年 平成10年2月1日開始
サロン知手浜では、開始当初からのメンバーとして4名の方が元気に継続して参加されています。昼食は毎回、ボランティアさんたちの美味しい手作り料理が大好評です。サロンに来る一番の楽しみは今も昔も“苦楽を共に過ごした友の顔を見て昔の思い出話をする”ことです。時には大根や煮卵等の差し入れが地域の方々から届くこともあり、「このサロンは知手浜の皆さんが応援してくれたから、長く続いたんです」とボランティアさんが感謝の思いを話してくれました。



ボランティアセンターでは、新たにサロンを立ち上げたい方々の“思い”を“活動”に繋げられるよう、取り組みへの調整や側面的な支援を行います。わくわくサロンに興味・関心がある方は、お気軽にご相談ください。

新たな仲間との出会い 『輝くための男の講座』報告



1日目(10月4日) そば打ち



2日目(10月12日) 網戸の張り替え



3日目(11月10日) 午前の部 庭木の剪定



3日目(11月10日) 午後の部 交流会

今年のこの講座は、60代男性を対象にセカンドライフの充実を目的として、『そば打ち』『網戸の張り替え』『庭木の剪定』『ボランティア紹介と交流会』全4つのプログラムで構成し、市内に住む60歳代から70歳代の男性8名の方に参加をしていただきました。

男性ボランティアの活動場所が少ない社会的課題に対して、参加者がこの企画を通じ、日常生活に生かせる技術を得て、さらには、他者とのコミュニケーションや共同作業で充実感得ることができました。

また、“縁があって出会った仲間と何か始めてみたい” “この経験を地域社会におすそわけしていきたい”との意見も上がり、講座修了後も継続的に集まって、今後の活動について話し合いの場が持たれることとなりました。

ハッチ主催「ムーブメント教育・療法100回記念」開催のお知らせ

ムーブメント教育・療法とは、対象者の自主性・自発性を尊重し、からだ（動くこと）とあたま（考えること）とこころ（感じること）の調和のとれた発達をはかるものです。

ボランティアグループハッチは、障害児・者やその家族などを対象に、この活動を平成14年より定期的に取り組んでおり、これまで延べ3,926人の方が参加し、交流を深め合いました。100回記念では、リボンやロープ、パラシュートなどの遊具を使い、参加者みんなと一緒に楽しみ、一体感や充実感を味わいます。神栖市及び近隣にお住まいの障害児・者や保育所、幼稚園に通う児童、ムーブメントに関心のある方など、お気軽にご参加ください。一緒に100回記念を楽しみましょう。

■日 時：平成30年1月14日（日） 9時～12時

■開催場所：神栖市中央公民館 小ホール

■参 加 費：無料

■準 備 物：動きやすい服装と上履き、飲み物

■お問合せ：ハッチ代表 早田恵子 090-9017-0052

（日本ムーブメント教育・療法協会認定上級指導者）



パラシュートは、みんなと一体となって楽しむことができます。

集めて、送って、役立つボランティアを始めてみませんか

手軽にできるボランティア活動として、使用済み切手やプリペイドカードの「収集ボランティア活動」があります。ご自宅やお勤め先で、簡単にできるボランティア活動です。神栖市社協では主に、下記の物品（衣類以外）を受け付けています。

■使用済みの切手やカード （テレホンカード、図書カード、クオカード等）

使用済み切手やカードは、市町村社協を経由し茨城県社協に集められ、専門業者等が買い取ります。そのお金が茨城県ボランティア基金に積み立てられ、県内のボランティア活動支援に活用されます。



※切手は周囲5～10mmの余白を空けて切り取って下さい。

■書き損じハガキ （通常のハガキ、年賀ハガキ等）

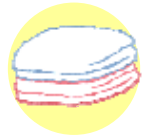
書き損じハガキは、「空飛ぶ車いす」の活動支援をしている(財)日本社会福祉弘済会に送られ、切手に交換されます。協力企業がその切手を購入することで、換金され、車いすの修理部品代や輸送費として活用されます。



「空飛ぶ車いす」とは・・・使われなくなった車いすを修理・再生し、車いすが不足している国々に贈る、全国的に展開されている活動です。神栖市ではボランティアサークル「空飛ぶ車いすin神栖」が、車いすの修理を行っています。

■タオル、布 （未使用のもの）

市内の障害者施設へ送ります。障害者施設では、タオルや布を加工して販売し、その収益金が障害者の方に支払われる報奨金や施設の活動資金として活用されます。



※柄、会社名等が入ったものでも構いません。

■ベルマーク 使用済みインクカートリッジ、トナー

2,000種類以上の商品についているので、普段の買い物でも自然に集まります。神栖市社協に集められたベルマークは、ベルマーク教育助成財団へ送り、1点1円換算で、地震等による被災校の教材・備品購入に役立てられます。



使用済みインクカートリッジは1つにつき5点、使用済みトナーは1つにつき50点分のベルマークになります（エプソン、キヤノン、ブラザー純正品に限ります）。

■衣類



神栖市社協では、衣類の受入を行っておらず、下記の2団体を紹介させていただいています。大掃除で出た“まだ着られるかも”と迷う衣類などがありませんでしたら、ぜひご活用ください。いずれも、送料は送り主の負担となります。

下記団体へ衣類を送るときは、事前に電話で問合せをしてください。

●認定NPO法人 ブリッジ エーシア ジャパン

電話：03-3372-9777 ホームページ <http://www.baj-npo.org/>

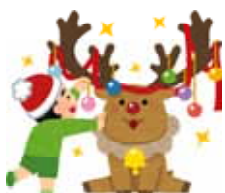
集まった古着をリサイクル業者が買取、その収益がミャンマー、ベトナム支援活動にあてられます。

●認定NPO法人 日本救援衣料センター

電話：06-6271-4021 ホームページ <http://www.jrcc.or.jp/>

集められた衣料品がそのまま海外に贈られ、支援に役立てられます。

お寄せいただいた善意は毎月1日新聞折込の「かみす社協ニュース」でご紹介しています。



「あっ」という間に12月15日。平成29年も残り半月となりました。今年最後のボラマガは、めでたく活動開始から20年を迎えた4つのわくわくサロンで締めくくりました。ボラマガは来年も、神栖市内のボランティア情報満載で、活動にける思いや楽しさをお伝えします。皆様、よいクリスマス、年末年始をお過ごしください。